

考査項目別運用表（建築工事）

工事担当係長

工事の名称を入力してください

1

考査項目	細 別	対象 評 価 対 象 項 目
2. 施工状況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> ① 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ② 隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> ③ 近隣住民（入居官署等を含む）調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ④ 配置技術者（現場代理人等）の工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 理由：
		詳細評価内容：
		a：工程管理が優れている。 b：工程管理が良好である。 c：工程管理が適切である。 d：工程管理がやや不適切である。 e：工程管理が不適切である。
		評価選択 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/> e ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。
2. 施工状況	III. 安全対策	<input type="checkbox"/> ① 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> ② 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> ③ 安全衛生管理活動が、適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> ④ 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> ⑤ 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> ⑥ その他 理由：
		詳細評価内容：
		a：安全対策が優れている。 b：安全対策が良好である。 c：安全対策が適切である。 d：安全対策がやや不適切である。 e：安全対策が不適切である。
		評価選択 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/> e ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。
6. 社会性等	I. 地域への 貢献等	<input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 <input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> ⑥ その他 理由：
		詳細評価内容：
		a：地域への貢献が優れている。 a'：地域への貢献がやや優れている。 b：地域への貢献が良好である。 b'：地域への貢献がやや良好である。 c：他の評価に該当しない。
		評価選択 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a' <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b' <input type="checkbox"/> c ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。

- ※1. 工事担当係長は、監督職員の意見を参考に総合的な評価を行う。
- ※2. 評価に当たっては評価対象項目のレ点の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。
- ※3. 地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。
- ※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。
- ※5. 工事しゅん工書類の簡素化のため、必要以上の書類作成を理由に加点評価はしない。簡素化の観点から創意工夫・社会性等の実施状況の受付は、1工事につき7項目を上限とする。

考査項目別運用表（建築工事）

工事担当係長

2

(特性 1 / 3)

考査項目	細 別	対 象 評 価 対 象 項 目
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	■建物規模への対応	<p style="text-align: center;">※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 延べ面積10,000㎡以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由 _____）</p>
	評点 = 点	<p>詳細評価内容：</p>
	■建物固有の機能の難しさへの対応	<p style="text-align: center;">※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象建物の耐震レベル</p> <p><input type="checkbox"/> 建物機能の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由 _____）</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において I 類及び A 類に属する工事 ・ 電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・ 研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物
評点 = 点	<p>詳細評価内容：</p>	
■建物固有の施工技術の難しさへの対応	■建物固有の施工技術の難しさへの対応	<p style="text-align: center;">※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】</p> <p><input type="checkbox"/> 設計条件として、工法、材料及び設備システム（機材を含む）の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由 _____）</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・ 特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・ 特殊な設備システムを採用した工事 ・ 免震装置を設ける工事 ・ 大規模な山留め工法が必要な工事 ・ 敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事 ・ 仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
	評点 = 点	<p>詳細評価内容：</p>
	評点 = 点	<p>詳細評価内容：</p>

考査項目別運用表（建築工事）

工事担当係長

3

(特性 2 / 3)

考査項目	細 別	対 象 評 価 対 象 項 目
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	■ 厳しい自然・地盤条件への対応	<p style="text-align: center;">※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時）</p> <p><input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持地盤の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 雨・雪・風・気温等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由 _____）</p>
	評点 = 点	<p>詳細評価内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事
	■ 厳しい周辺環境、社会条件との対応	<p style="text-align: center;">※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 地中埋設物等の作業障害</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由 _____）</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置（水替え）を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められてる工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事
	評点 = 点	<p>詳細評価内容：</p>

考查項目別運用表（建築工事）

工事担当係長

4

(特性 4 / 3)

考查項目	細 別	対象 評 価 対 象 項 目
4. 工事特性 (施工条件等への対応) (最大 20点)	■ 施工現場での対応	※下記の対応事項に1つにレ点が付けば4点の加点とし、最大10点とする。 【長期工事における安全確保への対応】 <input type="checkbox"/> 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事 (ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 <input type="checkbox"/> 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】 <input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 <input type="checkbox"/> 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 <input type="checkbox"/> 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 <input type="checkbox"/> 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事 <input type="checkbox"/> 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 <input type="checkbox"/> 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 <input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 <input type="checkbox"/> 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> その他(理由)
評点計= #VALUE!	評点= 点	詳細評価内容：

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。なお、1項目に複数の内容がある場合又は、対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えても良い。

※2. 評価にあたっては、主任監督員等の意見も参考に評価する。

※3. レ点を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

考查項目別運用表（建築工事）

工事担当係長

考查項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
8. 法令遵守等	<p>点数</p> <input type="checkbox"/> 該当無し	<p>1. 指名停止3ヶ月以上</p> <p>2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</p> <p>3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</p> <p>4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満</p> <p>5. 文書注意相当</p> <p>6. 口頭注意相当</p> <p>7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合</p> <p>8. その他（総合評価落札方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われな い場合等）</p>
<p>① 本考查項目（8. 法令遵守等）で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p>④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減ずる措置を行う。</p> <p>◆総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった事項</p> <p><input type="checkbox"/> ① ()</p> <p><input type="checkbox"/> ② ()</p> <p><input type="checkbox"/> ③ ()</p> <p><input type="checkbox"/> ④ ()</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ ()</p> <p>◆その他の事項 減点 点</p> <p>理由 ()</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <p>1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚為の事実が判明した。</p> <p>2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</p> <p>3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</p> <p>4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</p> <p>5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。</p> <p>6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</p> <p>7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。</p> <p>8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</p> <p>9. 監督又は検査の実施を不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</p> <p>10. 下請代金を期日以内に行っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</p> <p>11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検された。</p> <p>12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。</p> <p>13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</p> <p>14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。</p>		